

委員長報告【議案】

(令和6年第1回定例会)

【総務市民委員長報告（議案）】

総務市民委員会に付託されました議案につきまして、その審査の経過と結果を御報告いたします。

まず、議案第29号令和6年度柏市一般会計予算当委員会所管分についてを議題といたしました。

委員から「柏市制施行70周年記念事業について、イベントの内容は公募などを行っているのか」との質疑があり、当局から「大枠については、庁内から市民と一緒にできる事業のアイデアを募り、その中から選定したが、市民の方からの声を集める企画も今後考えていきたい」との答弁がありました。また、委員から「避難所における防災資機材等の整備について、ペットケージの整備状況と今後の予定はどうなっているか」との質疑があり、当局から「現在は20の近隣センター、21の中学校、手賀東小学校にケージ大中小をそろえている。6年度は41の小学校に整備する予定である」との答弁がありました。また、委員から「市民意識調査について、どのような体制、スケジュールで進めていくのか」との質疑があり、当局から「実施に当たっては、年度当初から取組を始め、実際の調査は6月、集計は7月から8月、報告書の公表は年内公開をめどに進めていく」との答弁がありました。また、委員から「電動車の計画的配備について、現在電動車が何台あって、6年度は何台購入予定なのか」との質疑があり、当局から「現在はハイブリット車、電気自動車あわせて40台がある。6年度はハイブリット車20台、電気自動車19台の計39台を購入予定である」との答弁がありました。また、委員から「消防施設の整備事業の主な内容は何か」との質疑があり、当局から「消防庁舎の維持管理事業として消防局庁舎の直流電源装置の電池交換、非常用発電機の蓄電池交換、富勢分署の空調設備工事、西部消防署、指令センター、西原分署、富勢分署のトイレと浴槽の改修工事、東部消防署の発電機の改修工事を予定している」との答弁がありました。

また、委員から「東葛中部地区総合開発事務組合総務費負担金の内容は」との質疑があり、当局から「事務組合専任職員の給与費に係るものが主である」との答弁がありました。また、委員から「6年度の合併特例債はいくら計上しているのか。また、今後はどうなるのか」との質疑があり、当局から「一般会計と北柏会計をあわせて約4億6千万円ほど合併特例債を財源として予算計上している。また、今後については、柏市は平成17年から活用しており、20年が最大期間であるため6年度が最終年度となる」との答弁がありました。

採決の結果、議案第29号当委員会所管分は賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第22号令和5年度柏市一般会計補正予算当委員会所管分についてを議題といたしました。

委員から「防災施設及び防災資機材の管理事業について790万円マイナスとなっているが理由は何か」との質疑があり、当局から「契約差金でマイナスとなったものである」との答弁がありました。また、委員から「戸籍住民基本台帳事務事業について、増額の理由は何か」との質疑があり、当局から「住民基本台帳システムが保有する氏名の読み仮名を戸籍附票システムへ連携させるための機能の追加による増額である」との答弁がありました。

採決の結果、議案第22号当委員会所管分は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第1号柏市個人番号利用及び特定個人情報提供条例の一部を改正する条例の制定について、議案第2号柏市職員勤務時間条例の一部を改正する条例の制定について、議案第3号柏市職員育児休業条例の一部を改正する条例の制定について、議案第41号柏市議会議員報酬等支給条例の一部を改正する条例の制定についての4議案を一括して議題といたしました。

議案第1号について、委員から「今回の条例改正に当たり、

対応するための費用はあるのか」との質疑があり、当局から「システム改修等も含め費用は発生しない」との答弁がありました。また、委員から「番号法の別表第2が廃止されたがその理由は何か」との質疑があり、当局から「別表第2については、市町村間で情報連携ができる情報はこれであるというようなものを法律に細かく規定していたが、今回廃止し主務省令で定めることとしたものである。これにより新たな制度ができたときに、法律の改正が必要なくなり、速やかに情報連携をすることができるようになる」との答弁がありました。

議案第2号について、委員から「対象職員として、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受ける小学校2年生から6年生までの子を養育する職員があるが、等級は何級以上という制限はあるのか」との質疑があり、当局から「等級については特に制限を設けていない」との答弁がありました。また、委員から「対象職員に小学校1年生の子を養育する職員とあるが、低学年の子供は突発的にいろいろ起こるので対象を拡大して欲しい」との意見がありました。

議案第3号について、委員から「他自治体と比較すると導入が遅かったと思うがどのように考えているか」との質疑があり、当局から「制度を導入した場合にどれぐらい取得があるのか分からなかったことや、柏市は公立保育園が22園あり、シフト制勤務で配置基準もあることから、同一の園で複数人が取得した場合、対応が難しいことから導入を見送っていた。しかし、船橋市に確認してみると、保育士で取得している職員はいないとのことであり、取得する職員が少ないのではないかということで導入を決めたものである」との答弁がありました。

議案第41号について、委員から「審議会の答申が出たからといってすぐに条例改正をする必要があったのか」との質疑があり、当局から「6年前に行われた前回の審議会の答申の中に、社会経済情勢の変化を踏まえて適正な時期に次の審議会を開催するようにとあり、今回物価の上昇、賃金の上昇

など社会経済情勢が変化していることを踏まえ審議会を開催して諮問をした経緯がある。今回の審議会の中では、引上げ案だけではなく、現状維持案、引下げ案も提示した上での審議会の答申ということであることから答申を尊重したものである」との答弁がありました。また、委員から「改定による年収見込み金額はいくらか」との質疑があり、当局から「議員が1,018万4,220円、議長が1,179万240円、副議長が1,053万7,440円の見込みである」との答弁がありました。委員から「実質賃金が下がっている中、自らの報酬を上げることが市民の理解が得られるのか。議員の活動を知ってもらい市民に理解を求めるような姿勢がないまま報酬を上げることには反対である」との意見がありました。

採決の結果、議案第1号は賛成多数で、第2号及び第3号は全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと、議案第41号については賛成少数で否決すべきものとそれぞれ決しました。

次に、議案第13号包括外部監査契約の締結について、議案第14号訴えの提起について、議案第19号柏市と流山市との間の証明書の交付等の事務委託の廃止に係る協議について、議案第20号柏市と我孫子市との間の証明書の交付等の事務委託の廃止に係る協議についての4議案を一括して議題といたしました。

議案第13号について、委員から「今回の契約の相手方は2年目であるが連続で契約することに制限などはないのか」との質疑があり、当局から「地方自治法により3年間の契約までとなっている」との答弁がありました。

議案第14号について、委員から「相手方の経営状況はどうだったのか」との質疑があり、当局から「決算報告書等によると年間約5億円の売上げがあり、経常状況が悪いということではないと考えている」との答弁がありました。また、委員から「判例はないとのことだったが、厚生労働省や国保

連などから見解は出されていないのか」との質疑があり、当局から「相手方が厚生労働省に確認した記録があるが、公債権か私債権かの明言はなかったようである」との答弁がありました。

議案第19号及び第20号について、委員から「今回の廃止によりどのような影響があるのか」との質疑があり、当局から「印鑑証明書を取得する場合、我孫子市役所や流山市役所で取得できなくなり、柏市内の証明書交付窓口でしか取得できなくなる。マイナンバーカードを持っている方は、コンビニ等で交付できるので周知に努めたい」との答弁がありました。また、委員から「我孫子市や流山市で証明書が取得できる制度は非常に便利である。マイナンバーカードの取得率が頭打ちの中、カードを持っていない方が、廃止により利便性が損なわれることになるので賛同できない」との意見がありました。

採決の結果、議案第13号及び第14号は全会一致で、議案第19号及び第20号は賛成多数で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

【健康福祉委員長報告（議案）】

健康福祉委員会に付託されました議案につきまして、その審査の経過と結果を御報告いたします。

議案第29号令和6年度柏市一般会計予算当委員会所管分について、議案第30号令和6年度柏市国民健康保険事業特別会計予算について、議案第32号令和6年度柏市介護老人保健施設事業特別会計予算について、議案第33号令和6年度柏市介護保険事業特別会計予算について、議案第37号令和6年度柏市後期高齢者医療事業特別会計予算について、議案第38号令和6年度柏市病院事業会計予算について、の6議案を一括して議題といたしました。

議案第29号について、委員から「新型コロナウイルス感染症予防接種について、自己負担の金額等はまだ未定で、今後国の方針に基づいて助成など必要な対応を行うと聞いているが、金額が決まり次第、市の負担額が補正予算で計上されるという認識でよいか」との質疑があり、当局から「おっしゃるとおり額の方は決まっていないため、委託費等が決まったら、改めて補正予算等で審議いただく予定である」との答弁がありました。委員から「プレ特定健康診査について、受診者を増やすにはどのような努力が必要と考えるか」との質疑があり、当局から「多くの方に事業を知ってもらう必要がある。そのために全ての方に受診券を送付している。また、企業が行う講習会であったり、若者が集まるような場所で周知を行いたい」との答弁がありました。また、委員から「健康アプリの開発について、今回さらに18歳まで対象を拡大したが検証はできるのか」との質疑があり、当局から「アプリを使うことによって健康づくりに関する意識向上を図ることや、具体的な指標として改善が見られるのかといったことを今後アプリの仕様を固めていく中で関係部と連携しながら検討していきたいと考えている」との答弁がありました。また、委員から「防災福祉K-Net・個別避難計画の策定に

ついて、現在のモデル事業はどういった形で実施しているのか」との質疑があり、当局から「先進自治体の例を参考にして福祉専門職の助力をいただいた。日頃から高齢者、障害者に接している方において、日頃の活動の延長線の中で避難するといった観点で作成していただいた」との答弁がありました。

議案第30号について、委員から「全国市長会や知事会から要望活動をしているといった答弁がこれまでもあったが、少しでも前進しているのか」との質疑があり、当局から「実績としては未就学児均等割の軽減が認められ、多少前進しているものと考え」との答弁がありました。

議案第33号について、委員から「基金34億円のうち10億円を残したのはなぜか」との質疑があり、当局から「この先、団塊世代が高齢化していき介護ニーズがさらに高まると介護給付費が増大していくことは確実である。これに対応するためには保険料をある程度負担していただかなければならない状況であり、この先の増え方が著しく大きくなる見込みであるため、できるだけ基金を活用して急激な増加とならないよう努めたい」との答弁がありました。

議案第37号について、委員から「後期高齢者医療保険では滞納者に資格証明書を発行していなかったが、マイナ保険証に移行した場合はどうなるか」との質疑があり、当局から「現在の取扱いと同様で、未納があったとしても10割負担とはならない」との答弁がありました。

議案第38号について、委員から「コロナによる病床利用率の影響は平時に戻りつつあるのか」との質疑があり、当局から「今年度の夏あたりにコロナの入院患者が増加することがあった。病床利用率はコロナ前の水準に戻ってきていないが、今後とも努力を続けていきたい」との答弁がありました。

議案第32号については質疑なく、採決の結果、議案第29号当委員会所管分、議案第32号、第38号は全会一致で、第30号、第33号、第37号は賛成多数で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第21号専決処分について（令和5年度柏市一般会計補正予算について）、議案第22号令和5年度柏市一般会計補正予算当委員会所管分について、議案第23号令和5年度柏市国民健康保険事業特別会計補正予算について、議案第26号令和5年度柏市病院事業会計補正予算について、の4議案を一括して議題といたしました。

議案第22号について、委員から「施設を整備する事業者が補助金を活用しなかった、またはできなかったためというのが6事業所あるが、その事業所はどういう事業所なのか、また理由は何か」との質疑があり、当局から「減額の種類がいくつかあるが、一つに公募した事業者に対して必要な数の予算を取っていたが、公募の結果、想定した事業者数に満たなかったといったもの。また、もともと補助金を活用する申出のあった事業所が結果的に補助金を使わずに施設を開設したのものがある」との答弁がありました。

議案第23号について、委員から「都道府県化による標準保険料に合わせるため、6年間値上げするという方針が示されているが、あくまで参考ということに変わりはないか」との質疑があり、当局から「令和7年度以降については、国の制度改正等があれば、それが上下する可能性はあるため、他の動向を注視して、推計をやり直して決定していく必要があると考えている」との答弁がありました。また、委員から「保険料収入が見込みより減額されているのはなぜか」との質疑があり、当局から「決算見込みに応じて減額したものである。理由としては、当初予算の見立てよりも加入者の所得の状況が芳しくなく、保険料の調定額が伸び悩んだためである」との答弁がありました。

議案第21号及び第26号については質疑なく、採決の結果、議案第21号、第22号当委員会所管分、第26号については全会一致で、議案第23号は賛成多数で、いずれも原案のとおり承認並びに可決すべきものと決しました。

次に、議案第4号指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、議案第5号柏市指定障害福祉サービス事業等人員設備運営基準等条例の一部を改正する条例の制定について、議案第6号柏市指定障害児通所支援事業等人員設備運営基準等条例の一部を改正する条例の制定について、議案第7号柏市指定障害者支援施設等人員設備運営基準等条例及び柏市障害者支援施設設備運営基準条例の一部を改正する条例の制定について、議案第8号柏市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第43号柏市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、の6議案を一括して議題といたしました。

議案第4号について、委員から「それぞれの対象施設のうち、協力医療機関が既に定められている施設はどれくらいあるのか」との質疑があり、当局から「特別養護老人ホームについては、既に全ての施設で協力医療機関を定めている」との答弁がありました。また、委員から「身体的拘束を原則禁止することを全てのサービス提供事業者に広げるという理解でよいか」との質疑があり、当局から「身体的拘束を行ってはならないことを明確化し、やむを得ず行う場合には記録をすることを新たに義務付けている」との答弁がありました。

議案第5号から第7号について、委員から「入所施設の見学が全事業所に義務付けられるという理解でよいか」との質疑があり、当局から「全てではないが、入所系サービスについては義務付けられる」との答弁がありました。また、委員から「地域連携推進会議はどこで行うのか、また義務付けの理由は」との質疑があり、当局から「基本的には事業所内で行うものと考えている。義務付けの理由は、厚生労働省の検討チーム等から、障害福祉サービスの実績や経験のない事業者が入ることによって支援の質が下がらないのか、また、障害者の方の生活の場であるグループホームについては地域の関係者を含む外部の方の目を定期的に入れることが透明性を高めることになるのではないか、という意見等があった中で、それ

を踏まえて制度化がなされたものと考えている」との答弁がありました。また、委員から「指定就労選択支援事業所について、これは地域移行支援やA型・B型事業所に行く際に、ミスマッチをなくし、その人に合った選択ができるような支援をすることでいいか」との質疑があり、当局から「その通りである。就労を希望する障害者が、企業就労に適しているのか、または就労継続支援のA型・B型事業所の就労がふさわしいのかを選ぶためのサービスである」との答弁がありました。

議案第8号について、委員から「現在、保険料を払えずサービスを制限されている方は何人いるか」との質疑があり、当局から「令和5年度は1月末現在で33人いる」との答弁がありました。

議案第43号については質疑なく、採決の結果、議案第4号、第5号、第6号、第7号及び第43号は全会一致で、議案第8号は賛成多数でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

【教育子供委員長報告（議案）】

まず、議案第29号令和6年度柏市一般会計予算当委員会所管分について、議案第35号令和6年度柏市学校給食センター事業特別会計予算について、議案第36号令和6年度柏市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算について、の3議案を一括して議題といたしました。

議案第29号について、委員から「保育施設の整備と保育の質の向上の計画に関し、今回9園の施設整備で定員増約370名とあるが、当該定員増が今年の応募状況と当てはめた場合にどれだけの吸引効果があるのか」との質疑があり、当局から「保留児が依然として毎年二、三百人ぐらいで出ており、申込者数は増えているため、今回これだけ整備することで、何とか保留人数を抑えていきたいと考えているところである。ただ、地域によって需要の差が出てきているため、慎重に見極めながら整備していく」との答弁がありました。また、委員から「子ども・子育て支援複合施設の整備・運営について、乳幼児一時預かり事業を約2,300万円を投資して実施を予定しているが、どの程度の事業の運営ができるのか試算しているか」との質疑があり、当局から「令和4年度の実績と令和5年度の2月までの実績を勘案すると、約130%ということなので預かりの希望が増えている。これに合わせて、なるべく多くの方が使っていただけるような形で実施をしていきたいと考えている」との答弁がありました。また、委員から「放課後子ども教室推進事業について、居場所型と補充学習型とあるが、学年によって変わると思うが、事業の配分及び実施についてはどう考えているか」との質疑があり、当局から「居場所型は従来から実施している放課後子ども教室であり、学年対象者は小学校2,3年生である。居場所型は全学年を対象にしている。その上で、居場所型については緩やかな見守りを中心とした事業であり、補充学習型はあくまでも学習支援を中心としていることから、いろんな体験を含めた放課後の居場所を作っていくために居場所型の放課後

子ども教室を展開していくということを考えている」との答弁がありました。また、委員から「小中一貫校の整備について、校舎設計予算が当初予算に計上されているが、柏駅西口北地区市街地再開発事業で児童が急激に増加した場合に、教室の不足が起こらないような余裕をもった設計になっているのか」との質疑があり、当局から「現時点で明らかになっている大規模なマンション建築計画が判明していれば児童推計にも反映されるが、現状は何が建築されるか不明瞭であるため、設計には反映されていない」との答弁がありました。また、委員から「令和10年に開校予定の小中一貫校と柏駅西口北地区市街地再開発事業は期間的に離れていないことから、令和6、7年度の計画に盛り込めずとも、その後に到来するであろうとの予測で計画図は考えられないか」との質疑があり、当局から「柏駅西口北地区市街地再開発事業については、組合や都市部を通じて情報収集を行い設計に間に合う段階であれば、設計には反映していかななくてはならないと考えている。仮に設計に間に合わない場合は、増築対応していくのが通常と考えている」との答弁がありました。また、委員から「市立柏高校グラウンド整備について、人工芝で整備をするに至った理由とは」との質疑があり、当局から「グラウンドの排水性を改善するため、また、施設の充実・向上を図り、魅力ある学校を推進するために人工芝での整備を行うものとした」との答弁がありました。また、委員から「不登校支援について、小中一貫校の整備目的の中に小中学校間のギャップの緩和とあるが、不登校理由はこれに限られているものではないと考えている。不登校児童に対してどのように支援したらよいと考えているか」との質疑があり、当局から「小中一貫校だけで不登校が改善されるとは当然考えていない。ただ、少なくとも小中間のギャップの解消に効果はあると考えている」との答弁がありました。また、委員から「目的別歳出を見ると、教育費が対前年度比42.6%の上昇で、かなり増額となっているが、その要因はどのように分析しているか」との質疑があり、当局から「人口増がある地域の学校で

既存校舎での運営が困難になってきていることが要因と分析しており、今後も同様の状況の校舎が複数でてくることが想定されているため、校舎整備の関係予算を計上したものである」との答弁がありました。

議案第35号及び第36号は質疑なく、採決の結果、議案第29号当委員会所管分は賛成多数で、議案第35号及び第36号は全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第22号令和5年度柏市一般会計補正予算当委員会所管分について、議案第25号令和5年度柏市学校給食センター事業特別会計補正予算について、の2議案を一括して議題といたしました。

議案第22号について、委員から「(仮称)柏北部東地区新設小学校整備事業について、該当の学校は開校後も一部工事が残っていたが、全て完了したのか」との質疑があり、当局から「今年度で、全ての外構工事含め事業が終了している。事業の進捗に伴い不用額が発生したため、減額補正を行った」との答弁がありました。また、委員から「こどもルーム管理運営について、減額補正となっているがこの状況を示されたい」との質疑があり、当局から「今年度からこどもルームの指導員を派遣会社に依頼し担い手を確保する予定だったが、予定派遣者数が見込めないということから実績に合わせて減額補正をした。また、計画的に空調更新等の工事を行っている中で、物価高騰を見込み予算を積算していたが、実際に落札したところ差額が生じたため、こちらも実績に合わせて減額補正を行った」との答弁がありました。

議案第25号は質疑なく、採決の結果、議案第22号及び第25号は全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第9号柏市特定児童福祉施設設備運営基準条例の一部を改正する条例の制定について、議案第10号柏市放

課後児童健全育成事業設備運営基準条例の一部を改正する条例の制定について、議案第11号柏市女性自立支援施設設備運営基準条例の制定について、の3議案を一括して議題といたしました。

議案第10号について、委員から「本来、支援員の成り手不足は待遇面に大本の要因があると思うが、そのあたりの認識はどうか」との質疑があり、当局から「保育士等有資格者との格差があまり開かないよう調整をしており、低賃金ということはないと認識している。また、他市との比較でも柏市は決して低い状態ではないと考えている」との質疑がありました。

議案第11号について、委員から「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の中で、收容処分はあるか」との質疑があり、当局から「今回の条例改正の背景として、新しく困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が制定された。この新法は、売春防止法が元になっていて、刑事処分の部分はそのまま売春防止法の中で存続する。保護更生の部分は新法の方に組み込まれるが、收容などの補導処分は廃止となる」との答弁がありました。

議案第9号は質疑なく、採決の結果、議案第9号、第10号及び第11号は全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第15号和解について、議案第16号母子福祉資金貸付金の償還の免除について、議案第17号母子福祉資金貸付金の償還の免除について、の3議案を一括して議題といたしました。

議案第15号、第16号及び第17号は質疑なく、採決の結果、議案第15号、第16号及び第17号は全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

【建設経済環境委員長報告（議案）】

建設経済環境委員会に付託されました議案につきまして、その審査の経過と結果を御報告いたします。

まず、議案第29号令和6年度柏市一般会計予算当委員会所管分について、議案第31号令和6年度柏市公設総合地方卸売市場事業特別会計予算について、議案第34号令和6年度柏市柏都市計画事業北柏駅北口土地区画整理事業特別会計予算について、議案第39号令和6年度柏市水道事業会計予算について、議案第40号令和6年度柏市下水道事業会計予算について及び議案第42号令和6年度柏市一般会計補正予算について、の6議案を一括して議題といたしました。

議案第29号について、委員から「コミュニティ交通運行事業の公共交通空白不便地域について、資料に示してある赤丸に被っていない町会自治会も多々あると思うが、優先度はどうしても低くなってしまふのか」との質疑があり、当局から「赤丸は公共交通空白不便地域の大体の位置であるため、微妙なラインであればぜひ御相談いただき、どんなことができるのか一緒に考えていきたい」との答弁がありました。また、委員から「コミュニティバスについて、柏ビレジ自治会の方でも運行するように動いていると思うが進捗についてはどうか」との質疑があり、当局から「柏ビレジ自治会主体で来年度上半期ごろよりコミュニティバスを走らせたいと相談をいただいております、現在手続等の打ち合わせを重ねている。これに対し400万円の補助金を市から支出するという事で予算計上している」との答弁がありました。また、委員から「スタートアップ支援事業について、同様の事業を過去にも行っていたがどのような実績であったか。また、最終的に市にどのような収入が期待できるか」との質疑があり、当局から「全体の企業数では経済センサスによると平成28年度に1万2,017社であった市内事業者が、令和3年度の調査においては、1万2,200社となっている。この厳しい経

済状況の中でも増加傾向にあるため一定の効果があつたものと考えている。また、スタートアップの成長で売上げ向上に伴う税込増加、業績拡大による雇用増大、スタートアップが集積することにより、スタートアップの技術を応用したい大企業や市内外の企業が柏の葉エリアに注目し投資出資等を行うことを期待している」との答弁がありました。また、委員から「公設市場再整備及び市場用地活用基本計画策定事業について、道の駅を併設していくのは強い宣伝効果となり、市内外から来場者が見込めると思うが、道の駅併設の課題とは何か」との質疑があり、当局から「公設市場と道の駅を併設した場合活性化に繋がるのではないかとということで調査をしたが、現状の敷地では必要と見込まれる385台の駐車場を確保することが難しく、市場外に駐車場を設けることも検討したが、柏の葉の近辺ということで土地活用が非常に進んでおり、用地取得に課題があること、また、そもそも市場の活性化を目的としていたが、一部の事業者は取引量が多くなるがその効果は限定的であるということが分かった。その中で、場内事業者から求められてる荷さばき場の拡充や物流機能の強化が必要であるという形で今回の再整備の方向に流れが変わった」との答弁がありました。また、委員から「柏駅周辺にぎわい創出イベント補助金の内容は何か」との質疑があり、当局から「柏市制施行70周年記念イベントの一環として開催を予定しているものである。現在企画中であるが、そごう解体前の5月中に市民の方に建物の中に入っていただいたり、14階の展望レストランで当時の雰囲気味わっていただいたりということを考えており、実行委員会を設置し補助金として支出する」との答弁がありました。

議案第34号について、委員から「2月に行われた利用者アンケートはどのような結果だったか」との質疑があり、当局から「自由通路に関するデザインのアンケートとなっており、木目調のA案、メタリック調のB案、テント屋根風のC案の3つの案を提示させていただいた。4,100の配布のうち、1,685の回収があり、おおよそ41%程度のかな

り高い回収率であった。現在集計中であるが、木目調が一番多い傾向となっている」との答弁がありました。

議案第42号について、委員から「旧そごう柏店本館の土地を具体的なところまで決まっていらない状況で買わざるを得ないという背景もあるとは思いますが、大きな金額かつ非常に曖昧な状態で議案として提出されていることが例外であるという認識はあるか。また、今後はきちんと透明性を持って進めていくということが非常に重要になっていくと考えられるが、その点の認識はどうか」との質疑があり、当局から「旧そごうは市にとっても市民の皆様にとっても重要な案件であることから、当初予算が成立する前に補正予算を提出するという柏市初のイレギュラーな手続であり、詳細が決まっていらない段階で議案を提出しているということは当然認識している。一方で、現在は民間企業が所有する土地であるため、将来に向けて早期に土地を取得する必要があるという、その一心で進めているところである。また、多くの市民の声に耳を傾け、情報公開して進めていくべきだということは、そのとおりだと認識しており、今後より一層意を用いて業務に当たっていききたいと考えている」との答弁がありました。また、委員から「国庫補助金総額約8億円を要望予定とのことだが、予定というのは何か。また、補助金の条件は何か」との質疑があり、当局から「国庫補助の制度自体が4月1日に出来上がるものであるため、予定と記載している。補助金は、全国的な課題となっている中心市街地の再整備に係る補助制度である。」との答弁がありました。

議案第31号、第39号及び第40号については質疑なく、採決の結果、議案第29号当委員会所管分及び第42号は賛成多数で、議案第31号、第34号、第39号及び第40号は全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第22号令和5年度柏市一般会計補正予算当委員会所管分について、議案第24号令和5年度柏市柏都市計

画事業北柏駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算について、議案第27号令和5年度柏市水道事業会計補正予算について及び議案第28号令和5年度柏市下水道事業会計補正予算について、の4議案を一括して議題といたしました。

議案第24号について、委員から「北柏駅の区画整理に関連して、新しい駅舎の国道6号線南側のロータリーは、入出いずれも一方通行となっているが、これは暫定的なものなのか」との質疑があり、当局から「おっしゃるとおり現在は丁字路の形状で暫定供用をしている状況であり、交差点が2か所完成する令和7年度末頃に合わせて開放することになると見込んでいる」との答弁がありました。

議案第27号について、委員から「ダクタイル鋳鉄の耐震化について、全て完了したら先日の能登半島レベルの地震でも耐えられるという見込みでよいか」との質疑があり、当局から「現在のダクタイル鋳鉄には離脱防止機能がついており、仮に耐震化が完了すれば大規模な山崩れや地盤の変動でもない限りは耐えられるものと考えている」との答弁がありました。

議案第22号及び第28号については質疑なく、採決の結果、議案第22号当委員会所管分、第24号、第27号及び第28号は全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第12号柏市手数料条例の一部を改正する条例の制定について、を議題といたしました。

委員から「既存不適格となっていることにより、省エネ改修を断念したケースはあったのか」との質疑があり、当局から「既存不適格となる建築物は建築基準法が施行される前の70年以上経過したものであり、件数も限られていることから市において相談を受けたケースはない」との答弁がありました。

採決の結果、議案第12号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第18号市道路線の認定について、を議題といたしました。

委員から「大井の51158号線について、この地域は市街化調整区域になると思われるが、開発行為との関係はどのようになっているのか」との質疑があり、当局から「令和2年4月1日より前については旧沼南町の調整区域の市街化から近い部分については、いわゆる50戸連檐制度があり、開発行為を行うことができた。その当時に許可したものが施工者の都合等で遅れ、やっと完成したと聞いている」との答弁がありました。

採決の結果、議案第18号は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。